

主日礼拝

2020年6月28日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」
使徒1:8 (讚美歌21-52)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいれいのひとりの主よ、さかえとち
からはた—だ主に あれ—、と—こしえまで—。
アーメン。

交読詩編 84:1~8

司式者：万軍の主よ、

会衆：あなたのいますところは
どれほど愛されていることでしょう。

司式者：主の庭を慕って、わたしの魂は絶え入りそうです。

会衆：命の神に向かって、わたしの身も心も叫びます。

司式者：あなたの祭壇に、鳥は住みかを作り

会衆：つばめは巢をかけて、雛を置いています。

一同：万軍の主、わたしの王、わたしの神よ。

司式者：いかに幸いなことでしょう

会衆：あなたの家に住むことができるなら

一同：まして、あなたを賛美することができるなら。

司式者：いかに幸いなことでしょう

会衆：あなたによって勇気を出し
心に広い道を見ている人は。

司式者：嘆きの谷を通るときも、そこを泉とするでしょう。

会衆：雨も降り、祝福で覆ってくれるでしょう。

司式者：彼らはいよいよ力を増して進み

会衆：ついに、シオンで神にまみえるでしょう。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

聖書 ヨハネによる福音書 4:5~26

新約(新共同訳) P169~P170

それで、ヤコブがその子ヨセフに与えた土地の近くにある、シカルというサマリアの町に来られた。そこにはヤコブの井戸があった。イエスは旅に疲れて、そのまま井戸のそばに座っておられた。正午ごろのことである。

サマリアの女が水をくみに来た。イエスは、「水を飲ませてください」と言われた。弟子たちは食べ物を買うために町に行っていた。すると、サマリアの女は、「ユダヤ人のあなたがサマリアの女のわたしに、どうして水を飲ませてほしいと頼むのですか」と言った。ユダヤ人はサマリア人とは交際しないからである。イエスは答えて言われた。「もしあなたが、神の賜物を知っており、また、『水を飲ませてください』と言ったのがだれであるか知っていたならば、あなたの方からその人に頼み、その人はあなたに生きた水を与えたことであろう。」女は言った。「主よ、あなたはくむ物をお持ちでないし、井戸は深いのです。どこからその生きた水を手にお入れになるのですか。あなたは、わたしたちの父ヤコブよりも偉いのですか。ヤコブがこの井戸をわたしたちに与え、彼自身も、その子供や家畜も、この井戸から水を飲んだのです。」イエスは答えて言われた。「この水を飲む者はだれでもまた渇く。しかし、わたしが与える水を飲む者は決して渇かない。わたしが与える水はその人の内です。永遠の命に至る水がわき出る。」女は言った。「主よ、渇くことがないように、また、ここにくみに来なくてもいいように、その水をください。」

イエスが、「行って、あなたの夫をここに呼んで来なさい」と言われると、女は答えて、「わたしには夫は

いません」と言った。イエスは言われた。「『夫はいいません』とは、まさにそのとおりだ。あなたには五人の夫がいたが、今連れ添っているのは夫ではない。あなたは、ありのままを言ったわけだ。」女は言った。「主よ、あなたは預言者だとお見受けします。わたしどもの先祖はこの山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムにあると言っています。」イエスは言われた。「婦人よ、わたしを信じなさい。あなたがたが、この山でもエルサレムでもない所で、父を礼拝する時が来る。あなたがたは知らないものを礼拝しているが、わたしたちは知っているものを礼拝している。救いはユダヤ人から来るからだ。しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。今がその時である。なぜなら、父はこのように礼拝する者を求めておられるからだ。神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならない。」女が言った。「わたしは、キリストと呼ばれるメシアが来られることは知っています。その方が来られるとき、わたしたちに一切のことを知らせてくださいます。」イエスは言われた。「それは、あなたと話をしているこのわたしである。」

賛美 404 「あまつしみず」

詞：永井素子、1866-1928 曲：John H. McNaughton, 1829-1901

あまつしみず ながれきて、 あまねく
世をぞ うるおせる。 ながくかわきし わがたま
しいも、 くみてい のちにかえりけり。

- | | |
|--|---|
| 1 あまつしみず ながれきて、
あまねく世をぞ うるおせる。
ながくかわきし わがたましいも、
くみていのちにかえりけり。 | 2 あまつしみず 飲むまに、
かわきを知らぬ 身となりぬ。
つきぬめぐみは ころのうちに、
いずみとなりて 湧きあふる。 |
| 3 あまつしみず うげずして、
つみに枯れたる ひとくさの
さかえの花は いかで咲くべき、
そそげ、いのちの ましみを。 | |

説教「イエスさまと響き合う」

賛美 432 「重荷を負う者」

I heard the voice of Jesus say
詞：Horatius Bonar, 1808-1889 KINGSFOLD
曲：イギリス伝統旋律

1 「お も に お う も の、ま よ う も の よ、
2 「か わ い て い る も の、つ か れ た も の、
3 「こ の 世 の つ と め に な や む も の よ、
だ れ で も き な さ い、 た め ら わ ず に。
だ れ で も き な さ い、 た め ら わ ず に。
だ れ で も き な さ い、 た め ら わ ず に。
ま ね き に し た が い わ た し は ゆ く。
い の ち の 主 イ エ ス に わ た し は ゆ く。
ひ か り の 主 イ エ ス に わ た し は ゆ く。
な ぐ さ め と へ い わ う け る た め に。
生 き た そ の み ず を の み ほ す た め。
お わ り ま で と も に あ ゆ む た め に。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 要田 悟史
説教 向井 希夫牧師
奏楽 佐々木 悠

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。